



名立まちづくり協議会 会報

2021年8月7日発行No.16
【ありがとう!ジョイントイベント号】

まち協だより



《七夕・名立の夏まつり・聖火リレージョイントイベント》 みなさんのご協力にお礼申し上げます！！

あまり記憶にないお盆の長雨もようやく過ぎ、そのせいか朝夕にはいつのまにか秋の気配も感じられるころになりました。

それもそのはずで暦の上では8月7日が立秋…里山を歩いてみれば稲穂もいつのまにか色づいてきています。

残念ながら今年もコロナ禍による様々な制約の中で過ごす夏になってしまいましたが、来年こそはみんなで明るく集える夏になるように願っています。

そんな思いで7月2日の名立中学校七夕飾りから約1ヶ月半にわたり実施してきた《七夕・名立の夏まつり・聖火リレージョイントイベント》も16日の不動向山大花火大会で無事に終了することができました。

この間、コロナ禍に加え、猛暑や長雨にもかかわらず、ほぼ予定どおり実施できたのは多くのみなさんのご理解とご協力によるものと厚くお礼申し上げます。

そこで今号ではイベントの最後を飾った“名立の夏まつり”についてお知らせします。

《名立の夏まつり 8月14日～16日》



8月14日はあいにくの雨となり、北部地区振興会主催の盆踊り大会は名立地区公民館会議室に変更して行われました。

それに先立ち、国の安寧や人々の平穏な暮らしを祈る浦安の舞(左写真)が名立篠笛同好会の4人の“舞姫”により披露されました。

幽玄な月下での舞…とはいきませんでしたでしたが、それでも多くのみなさんから色鮮やかな衣装を着た舞姫たちの優雅な舞をご覧いただくことができました。

古来から舞姫たちが手にしている鈴が奏でる清らかな音色には獣や魔物を追い払って身を守る盾になる効果があると言われているように、新型コロナウイルス感染症ほか、いろんな“魔物”が追い払われるように…と祈ります。

盆踊り大会では最初屋内のため戸感った感じもありましたが、名立音頭、炭坑節などにあわせて楽しく踊っておられました。

翌15日に開催された不動地区ふるさと夏まつり実行委員会主催の盆踊りも雨の影響で不動地域生涯学習センターグラウンドから駐車場へ変更して行われ、集われた多くのみなさんはやぐらの周りを輪になり、名立音頭のほか、明治時代から不動地域に長く伝わる八社五社、ヨーホイも踊られていました。





そして、16日は2年ぶり、30回目の不動向山大花火大会です！

幸いに雨もなく、不動地区の発展を祈るほか、長寿のお祝いや家族の健康を願うなど、様々な祈りや願いが込められた約80発の花火

が夏の夜空に大輪の花を咲かせていました。

こうして2年続けて中止となった名立まつりの代替事業として実施してきたジョイントイベントが終わりました。

ジョイントイベントに込めた思いは「世界の平和とみんなの幸せを願って」でしたが、その思いを一人ひとりがこれからも持ち続け、来年こそは新型コロナウイルス感染症の心配もなく、みんなが心穏やかに過ごせる夏になるように祈るばかりです。



ご協力いただいた多くの方々に改めて厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

【補記】名立地区公民館に展示していた旧上名立小学校昭和39年度卒業制作壁画の“今後”については、現在、上名立地区振興協議会、名立区総合事務所等と協議中ですので、決定しましたらまち協だよりでお知らせします。

《夢プロレポート②～川東用水（竹田）用水を歩く～》

当会と名立地区公民館の共催事業「竹田勘兵衛・川東用水 学習会」の第2回目は7月25日、参加者及びスタッフ24名が「川東用水を見に行こう！」と講師の石井浩順さんから説明していたきながら川東用水（竹田用水）や竹田勘兵衛ゆかりのスポットを歩いてきました。



頭首工



東蒲生田



竹田新田



稲荷神社

前号でお知らせしたように川東用水は全長約16kmもあり、そのすべてを歩くことはできませんでしたが、今回は川東用水沿いに頭首工（名立川から川東用水に水を取り入れる場所）～難工事箇所と言われ、その跡が今も残っている東蒲生田地内～竹田新田・稲荷神社の3ヶ所に加え、竹田勘兵衛屋敷跡を見学することができました。約200年前にこのような精緻な工事ができたことや広大な竹田新田を目の当たりにし、その偉業に改めて驚きと敬服の念を強くしました。

【編集・発行】名立まちづくり協議会 会長 三浦 元二

上越市名立区名立大町 200-1 (名立地区公民館内)

担当: 金子 僚子、石井 三千代

☎: 025-537-2182 FAX: 025-546-7041

✉: matikyo-nadati@bz04.plala.or.jp